

奮闘記 8



7月7日(水) 梅雨の一休み？
久しぶりの青空に思わず「やった
〜」と、思わず声のでる。

ウグイスの谷渡り、モリアオガエルの卵魂と、あぜ道にホタルブクロ、ヤブカンゾウの野草が咲く、自然いっぱいの棚田は最高だ…、自然と耕す鍬・スコップに力が入る。
しぐさ動作、服装はどこからみても高山の農夫(婦)になっ

ている。1100坪の耕作地の復元・景観回復をしつつ…「人に優しい環境にやさしい」「地域特性、地域還元」「有機農薬栽培…」へと、仲間の夢・目標は高い。



立派な畝の完成間近



7月11日(日) 9:00高山コミュニティセンターに集合。
小雨に煙る墨絵のような風景の棚田に、草刈り機(5台)のエンジン音がこだます。耕作放棄地のススキの繁殖力は半端ではない、背丈ほど伸びたススキは刈った後から…すぐに新芽がでる。やっかいものを退治し、景観を維持する為には年間7回ほどは覚悟しなければならないが…。仲間の目は輝いている。

夏場の草刈は30分ほどで一回休憩を取らないと…体が悲鳴をあげる。

作る楽しみ、育てる喜びは…わが子と同じ。綿は母の愛を受け順調に生育中。支柱をつける。八月末頃には花が咲くでしょう…



7月25日(日) 梅雨明け十日、ギラギラ太陽と今日はガチンコ勝負だ。暑いと言っていたら何もはじまらない。水分補給は忘れないように…。



見事に成長した「右近の綿」



シカにかじられた
オクラ

「あれ〜」シカにやられた。痛々しいオクラの茎。その中で右近の綿のみが元気に育っている。どうやらシカ・イノシシは「右近の綿」には関心がなさそうだ。

耕作地は有害鳥獣・野生動物との共存共栄区！が当分つづきそう…。人とシカ・イノシシとの生きる為の「智恵」くらべがはじまった。